

ちょぼら

No. **4**
(2004.7)

みんなで・楽しく・気軽に
ちよっとずつのボランティア



6月10日：本郷保育園と高齢者の(げんきかい)にて「ナレーションサークル風」のボランティア

クリーン大刀洗さんの紹介

一本の割り箸!! から環境運動

私達クリーン大刀洗は、年4回の廃品回収を活動の中心に環境運動に取り組んでいます。

その中の割り箸回収は平成14年6月から小郡のボランティア「ひまわりグループ」との交流で始めました。

当初は協力店も少なく回収は5kg程度でしたが、次第に協力店も増え協力して下さる皆さんが環境問題に関心を持たれ、割り箸1本1本を大事に集めて下さるようになり、今では月平均300kg位の回収が出来るようになりました。私達ボランティア14名も、仕事の片わらでの活動で大変ですが、多くの皆様のご協力をいただきながら頑張っています。回収した割り箸は、箱詰めされ小郡市役所から宮崎の王子製紙工場に送られ、再利用製品として生まれ変わります。割り箸6本で葉書1枚! 200本で週刊誌1冊!

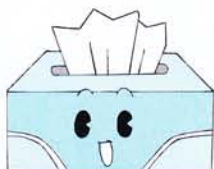
5,000本でティッシュ箱15箱!! が製造されているそうです。

私達クリーン大刀洗の活動も地域の皆様に支えられて、14年間も続けてくることが出来ました。今後とも環境運動にご協力をお願い致します。

『リサイクル! まわる資源のありがたさ』

クリーン大刀洗代表

寺嶋 信幸



明るい地域作りは我々の手で

北山隈青壮年部は昭和59年9月、現町議会議員松永清美氏を始めとする諸先輩方のご尽力により発足しました。会員相互の親睦と地域への奉仕を目的として活動を続け、今年で20周年を迎える事が出来ました。これも地域の皆さんと会員のご協力のお陰だと思っています。ありがとうございます。

北山隈青壮年部会の活動を改めてご紹介すると、最も大きな行事は4月の始めに開催している「桜まつり」です。区、ひまわりの会、子供会、老人会その他のご協力を得て、すべて手作りでを行い、毎年多数の皆さんに参加して頂いて、今年で第5回となりました。区民の皆さんも楽しんでおられると思います。子供会との共同で実施しているファミリーレクリエーションも毎年趣向を考えて子供たちに喜んで参加して貰っています。また、敬老会・体育祭への協力・盆踊り、区の行事にも積極的な参加をしています。地域へのボランティアとして、主要な道路に愛称をつけ、標識を設置しました。現在は北山隈に住んで居られる一人暮らし又は夫婦のみの高齢者や障害者の方々を対象にして、不燃物・大型ゴミの回収、簡単な電気設備の点検・保守等を行っています。限られた範囲でしか実行出来ないと思いますが、会員の協力により少しずつですが実施されています。皆さん、青壮年部会にご希望があればとりあえず相談を持ちかけて下さい。出来る事からやって行きたいと思います。

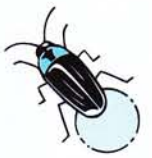


最後にお願ひです。北山隈青壮年部会は会員の減少で困っています。若い皆さんの参加を待っています。20周年の今年から新しい一歩を始めて行く北山隈青壮年部会をどうぞ宜しくお願いします。

北山隈青壮年部 古家 善徳

平成16年度 第1回大刀洗町蜚環境保存活動の一日

5月9日、日曜日。続々と環境整備活動ボランティアへの乗用車・トラック・自転車が入ってくる。乗用草刈機が大型車両に載ってやってくる。午前8時蜚環境保存会中原会長の作業活動参加へのお礼の挨拶のあと環境整備作業が開始される。参加者の環境維持への思いと未来への環境承継の笑顔で大雨の予報は、見事はずれて耳納の山々がのぞかれ、清しい緑の風が川辺に流れていく。碎石が運ばれ、ほたる観賞のための簡易遊歩道が作られ、草刈機がうなりをあげ見る見る観賞広場が整備されていく。河川敷の駐車場は乗用草刈機が走り整地される。町回覧版広報のみで参加いただいた町内企業のかた、町長さん、議長さん、議員さん、区長さん、行政、商工会、一般からの参加のかた皆さんの大きな背中が力強い。恩師長瀬先生のご息女の家族も雑草を運んでおられる。環境保全承継。胸張れるまちとして。参加者の汗がひかる。笑顔があふれる。



見に来てくれんの陣屋川の鯉を

Mさんの思い立ちで始まった鯉の放流が、地元隣組の川掃除となり、その事が東本郷、南本郷の区民を巻き込み、本郷土木、町、県の援助もあって、上川原井堰から小島井手の約1キ口を範囲とした陣屋川を守る会が生まれました。

平成8年に放流した緋鯉1,300匹余りも、大水で流されたり、心ない人に盗られたりして数は少なくなったものの大鯉となり、鮎と共に群れ泳ぐさまは見事です。春・秋の清掃作業には毎回150名余の人の参加を得て、守る会の地区外、小島井堰から中学校までの間の草刈りも行い、中学生等の非行の場になるのではと心配された藪影も無くなり、川沿いは絶好の散歩道として利用されています。

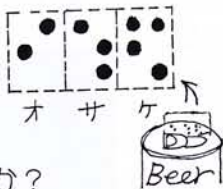
Mさんの鯉の放流から十数年、先月には守る会の第9回総会を開き、川掃除の日程を決めました。世話人の高齢化と農家の減少で、いつまで草刈機の使用ができるかが今後の課題となっています。

活動内容：鯉放流、川掃除、草刈り（春・秋）、ごみ拾い（年6回）、鯉給餌（毎日）



点字教室参加者募集中!!

ご存じですか?缶ビールのリングプルの横にあるポチポチ…。点字で「オ・サ・ケ」って読みます。視覚に障害を持つ人が、ジュースなどの飲み物と酒類と区別するためにうってあります。



あなたも、一緒にフイワイ勉強してみませんか?

日 時: 毎月第2・4木曜日

午後8時から

場 所: 役場横めくもりの館

問い合わせ先: 大刀洗町社会福祉協議会

☎ 77-4877

「この子たちの夏」自主上演決定

(ナレーションサークル風)

21世紀こそは、戦争の無い平和な世界を!! そんな祈りにも似た思いで迎えた新世紀は余りにも悲しい幕開けでした。次々と引き起こされる戦争、そして、そのほとんどに米国が関与し、日本も協力を余儀なくされてきました。

イラク戦争では、自衛隊までも派遣するに至り、私達日本人は、大切なものを失いつつあるような気がしてなりません。1945年、日本は広島と長崎に原爆を落とされました。一瞬にして起こった惨劇は、今まで地球上の誰もが体験した事の無い凄まじいものだったのです。

演劇制作体「地人会」は、被爆した人達が残した手記を基に構成した「朗読劇」「この子たちの夏」を1985年から全国各地で公演を続けてきました。私たちナレーションサークル風は、「地人会」の許可を頂いて、この「この子たちの夏」を、今年9月18日(土)ドリームホールにて上演する事を決めました。戦争そのものが風化していく中で、私達は決して他人事ではなく戦争の恐ろしさと平和の大切さを訴えていきたい。そして被爆体験者の手記を読む事により、私達自身、身をもって感じていきたいと思えます。

皆さん是非観にいらっしゃって下さい。そして私たちと一緒に感じて下さい。考えて下さい。

ボランティア講演会に参加して

3月30日、大分県宇目町の観光大使、矢野大和先生をお迎えして「人生の喜びは出会いから」と題したお話を伺いました。

笑って笑って、時々ふーんと頷き、時々うーんと考え、最後には不思議と素直な気持ちになりました。“人は誰かから必要とされてこそ生きて行ける”「ありがとう」「助かる～」「貴方がいてくれるから」こんな一言が人に力を与えるんですって!お年寄りの話? いえいえ、私もです。私もやっぱり誰かから必要とされたいです。そういう一言ってうれしいです。でも、日ごろの私、そんな一言めったに出ませんねえ。

「ありがとう」「助かる～」「貴方がいてくれるから」ひとつずつからでも心がけたいものです。でもでも、身近な相手にこそ、なかなか言えないんですよねえ。ちょっと独り言みたいに言ってみますかねえ。そのうち相手にもちゃんと聞こえてビックリされたり、言ってるうちに、もしかしたら合いの手みたいにポンポン言えるようになったりして・・・

ところで、矢野先生の“ご専門”は「嫁と姑」らしいです。私、嫁さん暦約10年、ぜひ聞いてみたいです。きっと、笑って笑ってちょっぴり辛くって、最後はやっぱり素直な気持ちになるんじゃないかな。

本郷 S・H

ボランティア活動に関する情報、ご意見、感想や お問い合わせは、

「大刀洗町社会福祉協議会」まで

TEL: 0942-77-4877

FAX: 0942-77-4877

編集スタッフ

スマイル



代表	戸塚幹栄
	福村宮生
	福村地代充
	川端好江
	中原利信